

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×一人で考え抜くことがやる気だと思うのは誤解だ！

誰もが、仕事を自分の知識の範囲で考える。その結果、独りよがりの判断をし、しばしば勘違いを犯す。それを防ぐために、いろいろなタイプの人と会うことを勧めたい。

- ・ 自分と思考や性格が違う人
- ・ 自分と違う体験をしている人
- ・ 自分と利害が異なる人

などである。異質の考え方を取り入れることで、自分の知恵を何倍にも磨き上げるのだ。仕事は、自分一人の発想でできるほど甘いものではない。

※ 身近な人と懇意になる

社内外に自分のブレインをつくってみてはどうか？まずは、周りの人で、今は社交辞令の範囲でしか付き合いのない人に接近してみる。社内でも他部門の人であれば、仕事内容が違うから異質な考えを持っているかもしれない。管理者でも直属の上司だけでなく、他部門の管理者にも近づいてみる。付き合いの薄い人たちの飲み会などに顔を出してみるのも、ブレインづくりの布石である。

※ 他部門の考えを聞く

他部門には、仕事の特性からそれぞれの風土や、やり方や、考え方がある。同じ会社でも異質な刺激がある。メーカーならば、営業、製造、管理、ショップならば、本部と店という具合だ。また同じ職務でも、場所が離れていれば仕事のやり方が違うこともある。各営業所・各工場・各ショップなどのメンバーなどもいい。

※ 社外の人脈をつくる

お客様・仕入れ・外注先・協力先など、社外の人との交流を深め、多種多様な知識や知恵にふれてみる。仕事の関係と個人的関係、一挙両得の関係づくりだ。特に仕事を離れての自腹の酒は、相手との距離がグッと近くなり、ヒント満載で、あなたの視野を大きく広げてくれるものだ

誰もが、仕事を自分の知識の範囲で考える。その結果、独りよがりの判断をし、しばしば勘違いを犯す。それを防ぐために、どんな人会うと良いですか？

() ()
()

社外の人脈づくりにはどんなメリットがありますか？

()